

多様な関係者との「連結」と マイ・タイムラインを活用した計画づくり

日田市個別避難計画作成事業

大分県日田市

長寿福祉課 社会福祉課 防災・危機管理課

大分県日田市について

過去の被災状況

平成24年7月九州北部豪雨	死者1名	負傷者1名
平成29年7月九州北部豪雨	死者3名	負傷者4名
令和 2年7月豪雨	死者1名	負傷者4名

日田市では、過去10年で死者が出る大きな災害を3度経験している。

令和2年7月豪雨の際、大規模な土砂災害が発生したにも関わらず、事前避難により死傷者を出さなかったというような奏功事例もあり、早期避難の重要性、また、地域ぐるみで避難を呼びかけ、支援を行うことの重要性を強く感じている。

今後、災害による犠牲者ゼロを目指して、個別避難計画の取組は最優先事項であり、行政と地域が本気で向き合っていくべきことだと感じている。

令和3年度の取組

- 1 NPO法人、福祉職、福祉避難所協定施設、事業所、医療機関、大分県などと一緒に勉強会を開催
- 2 福祉専門職と一緒に個別避難計画作成
→要配慮者向けタイムラインを 日田市オリジナルの個別避難計画様式として決定
- 3 避難行動要支援者の範囲の見直し

日田市における内閣府個別避難計画作成モデル事業の取組

事業の概要

モデル自治会を選定し、自治会内の対象者について個別避難計画作成する。作成にあたっては、支援者（福祉専門職・自治会（自主防災組織）等）と連携を図りながら、対象者や支援者にとって取り組みやすい個別避難計画の作成と効率かつ効果的な実施方法を探る。

また、本取組を通して、今後市内全地域での避難支援の取組につなげていく。

モデル地区（吹上町自治会）の状況

吹上町の人口：896人（391世帯）
 避難行動要支援者（計画作成者）：10人
 その他町内の要配慮者：35人
 過去の被災経験：H24・H29（豪雨災害）

実施スケジュール

- | | |
|------------------|-----------|
| ①対象自治会の選定 | 8月 |
| ②第1回地域調整会議 | 9月22日（金） |
| ③個別避難計画作成 | 10月～ |
| ④第2回地域調整会議 | 11月19日（土） |
| ⑤計画を活用した避難訓練 | 12月11日（日） |
| ⑥第3回地域調整会議（振り返り） | 2月4日（土） |

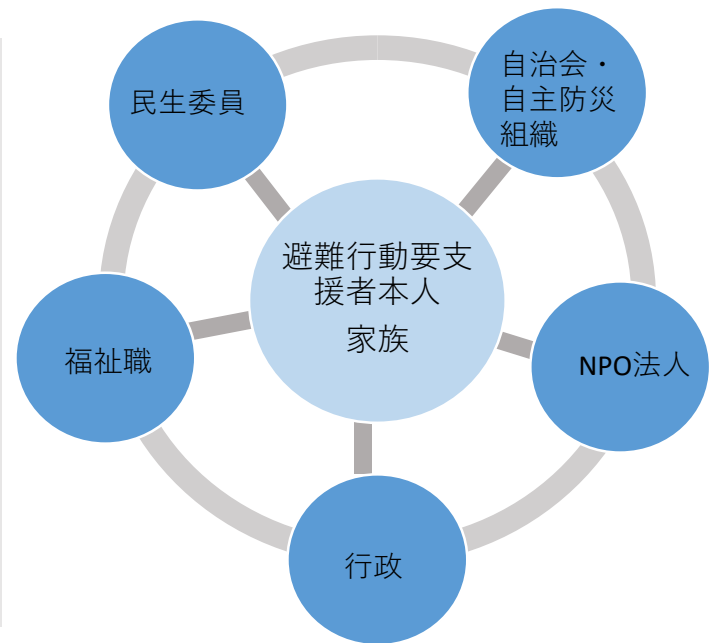
モデル事業取組のポイント

様々な関係者との「連結」

本人をとりまく様々な関係者と一緒を取組を実施。

→ 防災・福祉 それぞれの分野の強みを活かすため、関係者をくっつける場所（調整会議）を設定

- ・ 避難に支援が必要な方（避難行動要支援者・家族）
- ・ 地域防災のスペシャリスト（自主防災組織＝自治会）
- ・ 地域の要配慮者のスペシャリスト（民生委員）
- ・ 対象者本人の状況や福祉に関するスペシャリスト（福祉職）
- ・ 防災・減災のスペシャリスト（NPO法人リエラ）
- ・ 市民全体の生活と安全を守る者（行政の各部局）



マイ・タイムラインを活用した様式

時系列に行動を記載することで本人、避難支援者、行政、誰にとっても分かりやすい計画を作る。
→いつ、どこへ、誰と、どうやって、を一つずつ確認していく。

「おおいた支えアイ・タイムライン（日田市版）」を計画の様式として活用。

避難行動要支援者「点」×地域「面」へのアプローチ

避難行動要支援者「個人」だけでなく「地域（地域支援者）」に対しても取組をすすめる。

→「より実効性のある取組」の土台づくり

避難行動要支援者本人・家族にむけて

- ・本人・家族の防災力の向上
自分で考え、確認し、備え、行動する
- ・地域（自主防災組織）と連結
- ・避難訓練への参加

地域（自主防災組織）にむけて

- ・避難行動要支援者の把握
- ・個別避難計画のゴール（避難完了の報告）を統一
- ・自主防災組織体制の見直し
- ・民生委員や福祉職と連結
- ・完成した計画を活用し地域での避難訓練の実施

モデル事業の振り返り（関係者の声）

避難行動要支援者の家族

障がい児：地域の方と繋がりができたことで通学時に声をかけてもらえるようになった。

高齢者：関係者の皆さんが何度も丁寧に足を運んで話をしてくれたことに感謝。安心して暮らすことができる地域だと感じた。

福祉職

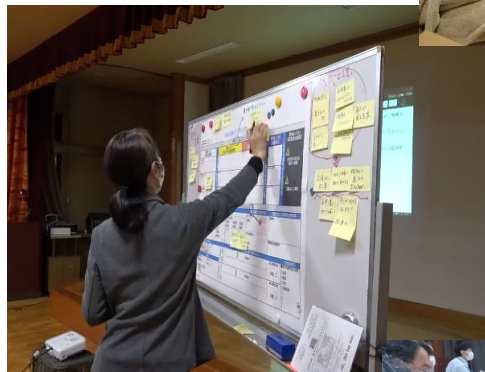
- ・調整会議では、支援者の方との関係性の構築ができた。事前に情報共有できたことで前向きに（安心して）計画作成に取り組むことができた。
- ・情報のすり合わせや今後の関係づくりのため「調整会議」は必ず必要。
- ・避難訓練は計画を実行に移すために必要なステップ。訓練まで行い初めて計画が完成する。
- ・訓練をやってみることで課題が見え、ケアプラン等にも反映させることができた。
- ・福祉職として避難完了までが計画ではなく、避難後のイメージも考え準備しておく必要があった。

地域支援者（自治会）

- ・個別避難計画の取組によって地域の組織体制の見直しにつながった。（楽になった）
- ・計画の取組を継続させるためにも、地域での訓練は最低1年に1回は必要。
訓練を通してそれぞれが練習することで、迅速な避難行動がとれるようになると思う。

取組の中で見えてきた課題

- 確実に避難してもらうための体制づくり
 - 指定避難所で受け入れができるような環境整備
(要配慮者スペースの確保・充実)
 - 避難所運営の職員との連携
 - 非常用電源のある避難先の把握
 - 福祉避難所の整備、直接避難の推進
- 個別避難計画の様式の見直し
 - 関係者の声を聞きながら
 - よりわかりやすく、見やすいものへ
- 地域（自主防災組織）での体制づくり
 - 自主防災組織の組織体制の見直し
 - 活性化にむけた取組の検討



今後の取組

地域とつながる仕組みづくり

地域の自主防災組織と必ずつながる計画づくり

当事者力・地域力を高める取組

- ・計画作成にあたり、支援者のみ（当事者抜き）で話が進むことがないよう当事者自身や家族と一緒に考え、確認し、準備し、行動するものとなるよう仕組みを作る。
- ・自主防災組織の活性化にむけて
組織体制の見直し、コミュニティ・タイムラインの作成、避難訓練の実施支援

今後の計画作成スケジュール

令和7年度までに市内全域（162自治会）で計画作成、避難支援の体制づくりに取り組む。

年度	対象自治会	避難行動要支援者数
令和4年度	5自治会	63人
令和5年度	65自治会	1,010人
令和6年度	56自治会	823人
令和7年度	36自治会	492人

令和5年度の計画作成にあたり地域向けの研修会（R5作成地区のうち50自治会）を実施。

他自治体へのメッセージ

より実効性のある取組のためには、個別避難計画の作成だけでなく「地域での避難支援の体制づくり」が鍵になるのではないのでしょうか。

市民の生活と安全を守るため、とにかくやるしかありません。

災害時の「犠牲者0」を目指して頑張りましょう！

個別避難計画の作成は、「迷惑をかけるから」等の理由で、これまで避難ができなかった人たちの存在を地域の人が把握し、障がいを理解してもらう絶好の機会になります。また、本来の目的でもある地域づくりの手法の一つにもなるため、「一石二鳥」と思って取り組むと楽しいです。

河川改修や砂防工事などのハード対策も重要ですが、本当の意味で人の命を救う防災は、このような取組だと感じています。業務の効率化が求められる時代ではありますが、行政の各部局が地域に出向き、地域住民と実際に顔を突き合わせ、言葉を交わすことで生まれる信頼関係もあります。それぞれの立場を理解し、それぞれの役割を果たすことができれば、より良い取組になっていくと思います。

第2回地域調整会議次第

令和4年11月19日

1. 自主防災組織支援体制の見直し
2. 個別避難計画の内容確認
3. 計画を活用した避難訓練にむけて



議事メモ（会議で決定したことなど）

1. 計画作成が進むにあたり、自主防災組織としてこれまで取り組んできた地区内の要配慮者への支援体制について見直しを実施。
2. 対象者、避難支援者、福祉専門職、地域の支援者が、グループに分かれ、それぞれの計画の内容を確認。
3. 計画を活用した避難訓練にむけて、日程や当日の流れの説明。

() 町・地区自主防災組織図 組織内世帯数 _____ 世帯

自主防災組織本部 【主な活動内容】 平常時：会の運営、自主防災訓練、会議等を行い災害時に備える。各班との連絡体制の確立を図る。 災害時：本部を立ち上げ、自主防災会を統括する。情報班から受けた報告を総括し、各班へ指示を行う。 本部設置場所 () TEL _____ 総隊員数 _____ 名 ----- 会長 () TEL _____ 副会長 () TEL _____ 幹事 () TEL _____ () TEL _____ () TEL _____ 防災士 () TEL _____ () TEL _____ () TEL _____ () TEL _____ () TEL _____	警戒班 【主な活動内容】 平常時：地域内の危険箇所の把握とその対策にあたる。 災害時：地域内の被害状況や避難状況等を把握するためパトロールを行う。	班長 () TEL _____ 副班長 () TEL _____ ほか班員 _____ 名
	情報班 【主な活動内容】 平常時：放送機器等の点検・整備を行い、情報伝達経路を明確にしておく。防災ラジオの使用の確認。 災害時：各班からの情報を収集し、本部へ報告する。放送機器等（防災ラジオ）で住民に周知する。	班長 () TEL _____ 副班長 () TEL _____ ほか班員 _____ 名
	物資調達輸送班 【主な活動内容】 平常時：備蓄品の確認・更新。新たな備蓄品の情報収集。 災害時：物資ニーズの把握および物資の配布。	班長 () TEL _____ 副班長 () TEL _____ ほか班員 _____ 名
	救出救護班 【主な活動内容】 平常時：救護等の備品の保管を行うとともに、救急救命訓練等を行い、災害時に備える。 災害時：負傷者の救出・救護及び避難所への搬送等を行う。	班長 () TEL _____ 副班長 () TEL _____ ほか班員 _____ 名
	避難誘導班 【主な活動内容】 平常時：避難所の確認と要配慮者等の把握に努める。 災害時：要配慮者を中心に避難誘導を行う。その他住民への避難の呼びかけ、避難誘導を行う。	班長 () TEL _____ 副班長 () TEL _____ ほか班員 _____ 名
	要配慮者班 【主な活動内容】 平常時：避難行動要支援者の個別避難計画の作成、修正。その他要配慮者の確認。 災害時：避難行動要支援者などの要配慮者の避難行動について確認し本部へ報告。	班長 () TEL _____ 副班長 () TEL _____ ほか班員 _____ 名
	給食給水班 【主な活動内容】 平常時：炊き出し設備及び道具等の確認をし、水や非常用保存食を備蓄するとともに湧水箇所の把握を行う。 災害時：水や食糧を確保し、炊き出しなどを行う。	班長 () TEL _____ 副班長 () TEL _____ ほか班員 _____ 名
消火班 【主な活動内容】 平常時：地域内の消火栓・防火水槽等の設置箇所の把握と、その保全。 災害時：消火器等で初期消火にあたるとともに、消防署や消防団に対し、水利への誘導を行う。	班長 () TEL _____ 副班長 () TEL _____ ほか班員 _____ 名	

※各班ごとに班員への連絡体制を整備しておくこと。

■自治会（自主防災組織内）の防災士会の有無
有 ・ 無

■地区タイムライン（コミュニティ・タイムライン）の有無
有 ・ 無

■避難所・避難場所
① () ② () ③ ()

■医療機関
① () ② () ③ ()

■緊急連絡先
日田消防署 24-2204 日田警察署 23-2131
日田市役所（本庁） 23-3111
前津江振興局 53-2111 中津江振興局 54-3111 上津江振興局 55-2011 大山振興局 52-3101 天瀬振興局 57-8201

大雨・洪水・高潮 土砂災害	各班の役割	警戒レベル1 早期注意情報	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保	平時の備え
日田市の動き			<ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオ等で注意喚起 ※今後の気象状況等を考慮するため、必ず行われるものではありません 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等避難の発令 ・指定避難所の開設 ※情報伝達は防災ラジオや防災メール、HP、SNS等で行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難指示の発令 ・指定避難所の開設 ※警戒レベル4から発令される場合もあります 		
【本部】							
【警戒班】							
【情報班】						 自宅内の安全な場所へ避難	
【物資調達輸送班】							
【救出救護班】						 2階以上に避難	
【避難誘導班】							
【要配慮者班】							
【給食給水班】							

●地震 ※防災体制の基準 (活動のタイミング)

0 1 2 3 4 5弱 5強 6弱 6強 7

大雨・洪水・高潮 土砂災害	各班の役割	警戒レベル1 早期注意情報	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保	平時の備え
日田市の動き		・防災ラジオ等で注意喚起 ※今後の気象状況等を考慮するため、必ず行われるものではありません	・防災ラジオ等で注意喚起 ※今後の気象状況等を考慮するため、必ず行われるものではありません	・高齢者等避難の発令 ・指定避難所の開設 ※情報伝達は防災ラジオや防災メール、HP、SNS等で行います	・避難指示の発令 ・指定避難所の開設 ※警戒レベル4から発令される場合もあります		
【本部】	・地区防災の情報収集と共有 ・自主避難所の開設	□自主防災組織の今後の動きを確認 □必要に応じ各役員に連絡	□自主防災組織の今後の動きを確認 □必要に応じ各役員に連絡 □必要に応じ自主避難所の開設	□自主防災組織役員の招集 □自主避難所の開設・受け入れ準備 □各対策班へ指示	□各対策班へ指示 □避難が必要な方(要配慮者中心)で逃げ遅れている方がいないか確認		□各班長との連携強化
【警戒班】	・危険個所や被災状況の把握	□ヘルメットや懐中電灯等警戒時に使用する資機材の確認	□ヘルメットや懐中電灯等警戒時に使用する資機材の確認	□地域内の被害状況の確認・報告	□地域内の被害状況の確認・報告		□地域内の危険個所の確認 □避難所までの経路の確認
【情報班】	・情報収集および本部への報告 ・防災ラジオ等で住民周知	□会長等からの指示により防災ラジオ等を使用し、最新の気象情報や、自主避難所開設のタイミングなどの情報を周知	□会長等からの指示により防災ラジオ等を使用し、最新の気象情報や、自主避難所開設のタイミングなどの情報を周知	□会長等からの指示により防災ラジオ等を使用し、最新の気象情報や、自主避難所、指定避難所の開設状況、地域の被害状況などの情報を周知	□会長等からの指示により防災ラジオ等を使用し、最新の気象情報や、自主避難所、指定避難所の開設状況、地域の被害状況などの情報を周知	 自宅内の安全な場所へ避難	□会長等との連絡方法の確認(情報伝達経路の確認) □防災ラジオ等の発信方法の確認
【物資調達輸送班】	・必要物資の確保・配分 ・物資ニーズの把握と確保	□備蓄品(水・食料・ベッド・毛布)確認	□備蓄品(水・食料・ベッド・毛布)確認	□備蓄品(水・食料・ベッド・毛布)配布 □物資ニーズの把握	□備蓄品(水・食料・ベッド・毛布)配布 □物資ニーズの把握		 2階以上 に 避難
【救出救護班】	・負傷者の救出・救護	□救護等の備品確認	□救護等の備品確認	□負傷者の救出・救護 □避難者の体調確認	□負傷者の救出・救護 □避難者の体調確認		
【避難誘導班】	・避難が必要な住民の避難誘導	□本部や要配慮者班と避難誘導が必要な方の確認	□本部や要配慮者班と避難誘導が必要な方の確認	□要配慮者の見回り、避難の呼びかけ、避難誘導	□要配慮者の見回り、避難の呼びかけ □その他、避難が必要な住民への避難の呼びかけ		□本部や要配慮者班と連携し、避難誘導を行う地域住民(要配慮者)の確認□避難誘導方法や避難所の確認
【要配慮者班】	・要配慮者の安否(避難行動)確認、本部への報告、避難誘導	□避難行動要支援者の個別避難計画について確認 □その他の要配慮者へ注意喚起等	□避難行動要支援者の個別避難計画について確認 □その他の要配慮者へ注意喚起等	□避難行動要支援者の避難完了の連絡を受け、本部へ報告 □その他の要配慮者の避難行動について確認、報告	□避難完了報告のない避難行動要支援者等の確認		□避難行動要支援者の個別避難計画の作成・修正 □避難誘導班との連携
【給食給水班】	・避難者への炊き出し	□食料品等の買い出し	□食料品等の買い出し	□水や食料を確保し、炊き出しなどを行う	□水や食料を確保し、炊き出しなどを行う		□炊き出し設備および道具等の確認

●地震 ※防災体制の基準(活動のタイミング)

0 1 2 3 4 5弱 5強 6弱 6強 7

災害時の要支援者避難訓練

無断転載禁止

訓練内容

線状降水帯等による豪雨災害/ハザードマップの想定通り(昼間を想定)

今回の訓練は原則支援者が対応する機会が多い優先順位1位の①支援者の行動計画で行う。

今回の訓練ではケアマネの方が各要支援者に同行する為、避難開始連絡は省略し、避難完了報告のみとします。□

日時

令和4年12月11日 (9:00~11:30)

(町自主防災会の行動予定)

(町) 自主防災会

自主防災会役員等	避難情報と時間別行動												反省会	備考	
	9:00 警戒レベル1発令	9:15 警戒レベル2発令			10:00 警戒レベル3発令			避難解除周知							
	防災ラジオで周知	防災ラジオで周知			防災ラジオで周知										
	9時						10時								11:00
	00	10	15	20	30	40	50	00	10	20	30	40	45		
自主防災会役員等 本部長 (自治会長) ○○○○ (000-0000-0000) 防災会顧問 ○○○○ (000-0000-0000) 副部長 ○○○○ (000-0000-0000) 副部長 ●●●● (000-0000-0000) 副部長 ●●●● (000-0000-0000) 会計担当 ●●●● 広報部長 ●●●●	9:05頃 本部長は役員へ集合準備指令 9:16頃 本部長は役員を召集 9:20~10:00頃までに避難受入準備をする * 受付簿・机の準備 * 発電機の準備(ガソリンの確認) * 体温計の準備 * 簡易ベット・ダンボールベット等の準備 * お茶の準備 * 毛布の準備 * マスクの準備 * ホワイトボードの準備 * 消毒液 * 今回特別に用意するもの * テレビ * ダンボール組み立て「綿テープ」 * トランシーバー 9:50頃 本部長は各地区班長を召集する(訓練の為・日頃は高齢者等避難勧告発令以降) 10:00までに各班長は公民館に集合 10:00各地区に避難の呼びかけに出発 (無線機・ハンドスピーカー・名簿) 服装(防災帽子・防災チョッキ・・・) 事前に無線機・ハンドスピーカー電池の確														
各地区班長 1地区 ●●●● (000-0000-0000) 2地区 ●●●● (000-0000-0000) 3地区 ●●●● (000-0000-0000) 4地区 ●●●● (000-0000-0000) 5地区 ●●●● (000-0000-0000)	2地区の班長は今回の訓練では対象者はいないが、災害時を想定して地区を巡回する。 避難者の受け入れ・要支援者の避難状況の確認 避難完了報告受け→災害対策本部へ報告 必要により避難状況の確認												トランシーバーでの通話(例) 本部・本部 「こちらは00地区の00です」 こちら本部です、どうぞ 「要支援者00は避難完了」 「要支援者00は避難完了」 2回繰り返す。 こちら本部「了解しました」		

(避難行動要支援者の行動予定)

(氏名等の敬称は省略)

要支援者	支援担当	避難情報と時間別行動												反省会	避難先等	
		9:00 警戒レベル1発令	9:15 警戒レベル2発令			10:00 警戒レベル3発令			避難解除周知							
		防災ラジオで周知	防災ラジオで周知			防災ラジオで周知										
		9時						10時								11:00
		00	10	15	20	30	40	50	00	10	20	30	40	45		
●●●●	①○○○○(長女) (000-0000-0000) ②○○○○(長男) (000-0000-0000)	田島町から本人宅に向かい2階へ避難 避難完了後 防災会 ◇◇(000-0000-0000)へ報告 防災会 ◇◇は班長に報告													今回は自宅2階へ避難	
●●●●	①○○○○(長女) (000-0000-0000) ②○○○○(知己) (000-0000-0000)	警戒レベル2発令と同時に◇◇◇◇に受け入れ確認 準備完了後 本人を乗せて○○公民館に避難 支援者②へ避難した事を報告													支援者① 日田在宅時を想定した訓練 ○○公民館へ避難	
●●●●	①○○○○(長女) (000-0000-0000) ②○○○○(義理妹) (000-0000-0000)	準備完了後 支援者①が◇◇◇◇に送迎 避難完了 ②支援者に報告 ②支援者は班長に報告													高齢者施設◇◇◇◇への避難	
●●●●	①○○○○(長男) (000-0000-0000) ②○○○○(地域) (000-0000-0000)	準備完了後 本人と2階へ避難 避難完了報告を②支援者へ報告													2階へ垂直避難	
●●●●	①○○○○(長男) (000-0000-0000) ②○○○○(地域) (000-0000-0000)	準備完了後 本人と2階へ避難 避難完了 班長に報告													2階へ垂直避難	
●●●●	①○○○○(母) (000-0000-0000) ②○○○○(父) (000-0000-0000)	避難所(○○小)へ車で避難 避難完了②支援者に報告 ②支援者は班長に連絡													○○小へ避難	
●●●●	①○○○○(姪) (000-0000-0000) ②○○○○(地域) (000-0000-0000)	準備完了後 同一敷地内隣の2階屋に避難 避難完了報告を②支援者へ報告													同一敷地内の2階屋へ避難	
●●●●	①○○○○(地域) (000-0000-0000) ②○○○○(地域) (000-0000-0000)	準備完了後 自宅2階屋に避難 避難完了②支援者に報告													自宅2階へ避難	
●●●●	①○○○○(長男の嫁) (000-0000-0000) ②○○○○(ケアマネ) (000-0000-0000)	本人を連れて旅館・ホテルに避難 避難完了 班長 と②支援者に報告													旅館へ避難	
●●●●	①○○○○(長女) (000-0000-0000) ②○○○○(地域) (000-0000-0000)	準備完了後 本人を連れて○○公民館に避難 避難完了 ②支援者に報告 ②支援者は班長に連絡													○○公民館へ避難	